

報道機関 関係者の皆様へ

4月1日より北海道薬科大学、北海道科学大学短期大学部が 前田キャンパスに移転し新たにスタート。 今後のキャンパス整備計画も決定し、ますます充実した教育・研究環境へ

学校法人北海道科学大学のグループ校である北海道薬科大学、北海道科学大学短期大学部は2015年4月1日に同グループ校の北海道科学大学がある前田キャンパスへの移転が完了しました。

また、教育・研究環境の充実をめざした2020年までの前田キャンパス整備計画が決定いたしましたのでお知らせいたします。

■ 4月1日北海道薬科大学、北海道科学大学短期大学部が前田キャンパスに移転 ～約5,000人が学ぶキャンパスが誕生～

前田キャンパスは北海道工業大学(現:北海道科学大学)のキャンパスとして1967年に誕生し、約50年に渡り教育研究活動を行ってきました。

2014年4月の北海道科学大学への校名変更および工学部の再編、保健医療学部の学科新設に続き、この4月1日に北海道薬科大学、北海道科学大学短期大学部の移転により在籍学生数は4,738人(3月25日集計時点)となり、北大、北海学園大に次ぐ学生数が多いキャンパスとなります。これにより手稲地区の活性化にもつながると考えております。

移転にあたり、北海道薬科大学共用講義棟や研究棟、北海道科学大学短期大学部車検棟など、新しい施設も誕生しました。

今後は、学生が所属する大学や学部の枠を超えて、教育活動では連携プログラムの充実、課外活動ではサークルなどに取り組むことでキャンパスライフがより充実したものとなります。

さまざまな専門分野を学ぶ学生がひとつのキャンパスで過ごし、自らの視野を広げながら学ぶことで「地域に貢献できる人材」を育ててまいります。



【写真】北海道薬科大学研究棟



【写真】北海道科学大学短期大学部車検棟

■入学式■

<北海道科学大学・短期大学部> 4月6日(月)13時30分～
場所:ニトリ文化ホール

<北海道薬科大学> 4月6日(月)10時15分～
場所:ロイトン札幌

■前田キャンパス移転記念講演会■

<北海道薬科大学> 4月26日(日)13時～

<北海道科学大学短期大学部> 5月16日(土)13時～

<特別記念講演会> 5月30日(土)10時30分～
講師:養老孟司氏(東京大学名誉教授)

本リリースに関するお問い合わせ先



〒006-8585 北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1 HP: <http://www.ed.hus.ac.jp>

経営企画部 担当 加藤伸治 : 011-688-2261 FAX : 011-688-7639

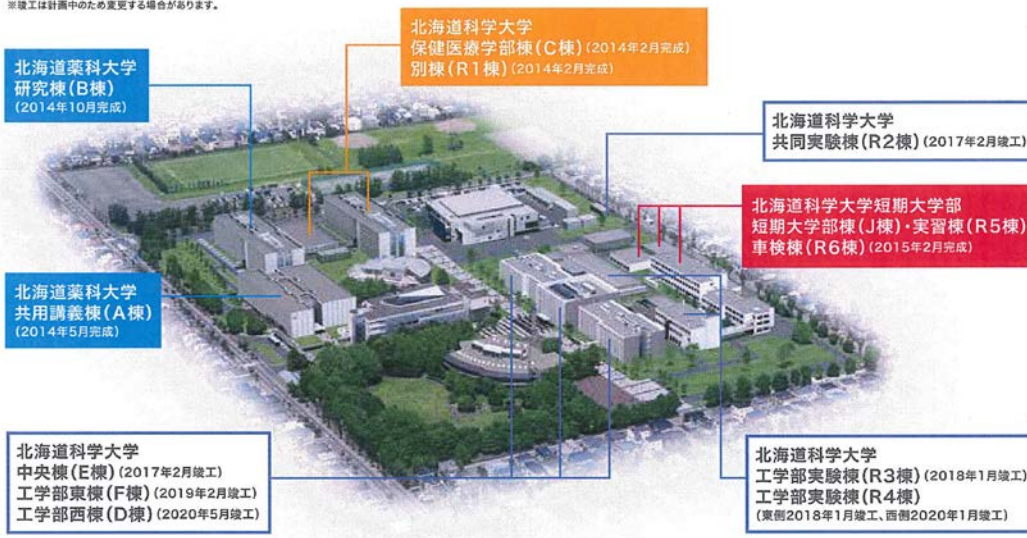
■ 2020年までの前田キャンパス整備計画について

◆ キャンパス整備計画の概要

前田キャンパスは北海道科学大学保健医療学部の新学科開設、北海道薬科大学・北海道科学大学短期大学部の移転に合わせ新校舎および研究棟など5棟を完成しました。引き続き北海道科学大学工学部、未来デザイン学部が使用している校舎を中心に2020年までの6か年で既存校舎の再整備を進めてまいります。

前田キャンパス完成予想図

※竣工は計画中のため変更する場合があります。



◆ 環境に優しいスマートキャンパスの構築

2020年の前田キャンパスは、現在も進めている電力の使用状況をモニタリングできるシステムや太陽光、風力、地中熱、雪冷熱といった再生可能エネルギーの活用をより推進することで環境に優しいスマートキャンパスの構築をめざします。また、地域の防災拠点としての役割を果たせるよう機能を拡充していく予定です。

◆ 北海道科学大学は新しい2つの研究所や新教室を設置し、教育・研究環境をより充実

新校舎の整備とともに教育・研究環境の充実も図ります。研究面では、この4月に寒冷地に適したものづくりの基盤材料の研究開発を行う「寒地先端材料研究所」と、北海道を中心とした地域社会の問題解決、地域振興に関する研究を行う「地域社会創生研究所」を新たに設立しました。キャンパス整備計画では2017年に既存の「寒地環境エネルギーシステム研究所」「寒地ヒューマンサポートシステム研究所」と併せて、4研究所の活動拠点となる「共同実験棟 (R2棟)」が竣工します。教育面では、同じく2017年に竣工する「中央棟 (E棟)」にプロジェクト型教育に対応したアクティブラーニング教室やさまざまな映像コンテンツの撮影・編集を行うメディアスタジオとメディアセンターを併設した施設を新設するなど環境の整備を進めてまいります。

◆ 学生や地域の方々と「共に育つ」キャンパスへ

2020年の前田キャンパスがめざす姿は、「北海道 No. 1の実学系総合大学」として学生や地域住民のみならずとも成長していくキャンパスです。キャンパス整備計画では「中央棟 (E棟)」に地域のイベントなどが開催できるホールを設置する予定です。オープンな環境の中で地域の方々にも学内施設を利用いただき、学生や地域の皆さんと自然に交流ができるキャンパスづくりをめざします。



【写真】中央棟 (E棟) 完成予想図